

埼玉県・オハイオ州グローバルスピーカープログラム (OSGS)

2022 年度後期 中間報告② 菅野ますみ

ここまでの経緯

2022 年度後期 OSGS 受講生菅野ますみです。埼玉県・オハイオ州グローバルスピーカープログラム中間報告②をさせていただきます。授業は「アメリカと日本における個人主義と集団主義」がテーマです。今回のレポートでは、前回の①レポート以降に行われた第 4 回から 7 回までの授業について報告させていただきます。

今回の内容は、主に、8 回目の講義で行われる Findlay 大学主催のオンラインプレゼンテーションの準備が主な目的となります。英語でのプレゼンテーション資料の作成、フィンドレー大学のペア学生との英語での共同作業など、貴重な経験をさせていただいております。

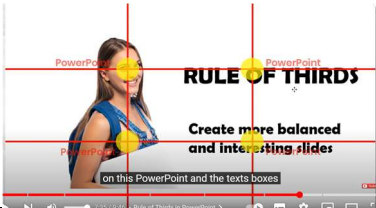
学んだ内容は、今後オンラインでプレゼンテーションを行う方にも有益な情報などと考えますので、できるだけ詳細に報告させていただきます。

第 4 回目の講義 (2 月 22 日)

【良いパワーポイントスライドの作り方】

参考にしたサイト 5 quick ways to improve your PowerPoint design

<https://www.youtube.com/watch?v=TQiln3CjtvM>

Visualize your data	DATA を聴衆が理解しやすいように視覚化すること (グラフや表にまとめるとよい) (スライドを見るのではなく、プレゼンターの話聞くことに集中できる状況を作る)
Use white space & don't clutter	情報を詰め込みすぎないこと (Less is more.) 空白 (white space) を効果的に使うこと 適切な文字の大きさにすること
Apply instant design ideas	各アプリに用意されたデザインフォーマットを使用して、最適なスライドを作成すること
Use scalable vector graphics	画像データを使用する場合、SVG 形式のデータを使用すること (サイズ変更 resize したときも鮮明に見える)
Apply the rules of thirds	テキスト、画像を配置する時、ポジショニングを意識すること (上下左右を三等分し、交わった場所にパーツを置くと、見やすいスライドになる) 
この授業で学んだこと	今まで資料を自己流で作成していましたが、聴衆からどのように見えるかという視点が欠けていることに気づきました。学んだことを生かして、相手の心に届く資料を作りたいと思います。

第5回目の講義 (3月11日)

【ゲストスピーカーセッション with Dr. Mari Noda from The Ohio State University】

参考サイト：<https://www.hakuhodofoundation.or.jp/yokogao/interview/03.html>

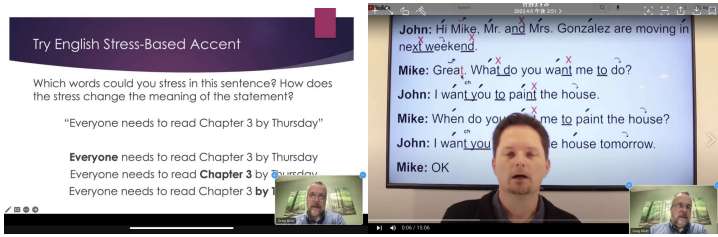
- ・ Nonnative speaker による日本語スピーチコンテストからの学び
 - ・ アメリカ文化、日本文化それぞれの生活の中にある個人主義と集団主義
- について参加者とディスカッションしました。

この授業を通して、特に印象的だったのは、個人主義の国と思われるアメリカにおいても家族が関係すると集団主義の要素が強くなるというお話でした。

第6回目の講義 (3月22日)

【良いプレゼンテーションに必要な要素】

Prosody and Intonation (韻律とイントネーション)

Register (声のトーン)	少し高めトーンは知識の伝達に向いている
Pace (ペース、速度)	一定のペースで話す聴衆が理解しやすい
Volume (声の大きさ)	小さい声：恥ずかしさ 大きな声：自信
Space (間の取り方)	間を取ることで重要な点を強調することができる
Stress (声の強弱)	強めるとキーワードを目立たせることができる
English Stress- Based Accent	同じ文章でもアクセントを置く場所で伝わる内容が異なる 
この授業で学んだこと	プレゼンテーション能力を向上させる方法を知ることができました。次は実践の中で生かしていきたいと思います。

第7回目の講義 (4月5日)

【オンラインでプレゼンテーションを行う時のヒント】

参考サイト 5 TIPS FOR DELIVERING GREAT ZOOM PRESENTATION

https://www.youtube.com/watch?v=XyRjKCT_wrk

Setting	Background (背景)、光、音に注意。発表者の注意をそらさない背景を使用すること
Stand up	立って発表することで、大きな動きをつけることができ、聴衆の関心を引きやすい
Rehearsal	事前にリハーサルを行い、タイムコントロールを確認すること
Dress to impress	聴衆に伝えたい内容、聴衆のタイプに合わせて洋服を選ぶこと
Supporting materials	写真・ビデオなどを使用すると印象に残りやすい
この授業で学んだこと	オンラインプレゼンテーション特有の注意点があることを知りました。次回はいよいよプレゼンテーションになります。今まで学んだことを生かして、伝わるプレゼンテーションを心がけます。